

## University of Reading シンポジウム

2014年7月3日、University of Readingにおいて、シンポジウム“From Duplexes to Quadruplexes – Understanding DNA Structure and Function”が開催された。本シンポジウムはJSPS Londonが実施する日英シンポジウム開催スキームで採択されたものである。

生命に必要な遺伝情報は2本鎖DNA（核酸）の塩基配列として保存されており、この配列が重要と長年考えられてきた。しかし、近年では核酸の構造は一般的に知られている2本鎖のほかに3本鎖さらには4本鎖などの多重鎖となって遺伝情報を制御していることが明らかになっている。本シンポジウムでは多重鎖核酸の構造と機能を専門とする日英の第一線の核酸化学者が参集し、日英合計9名のゲストスピーカーによる講演が行われ、シンポジウムオーガナイザーのDr. John

Brazier (University of Reading) のイニシアチブのもと、最新の研究成果について活発な討論が行われた。それぞれの発表の中では今後の共同研究の可能性についても力点が置かれていたのが特徴的であった。さらにセッション間のブレイクでも共同研究提案について話し合いが行われており、研究者相互の懇親とともに、今後の日英の研究者交流の更なる促進が期待できる内容であり、本シンポジウム開催の趣旨が十分に生かされていた。

また、シンポジウム期間中はJSPSによる特設ブースを設置し、フェローシップ事業の紹介をするとともに、JSPSのプロモーションセッションが設けられ、松本副センター長・香月国際協力員によるJSPS事業の概要説明が行われた。  
(香月)



シンポジウム参加者

# From Duplexes to Quadruplexes – Understanding DNA Structure and Function



Thursday 3 July 2014, 9:00-18:00

School of Chemistry, Food and Pharmacy, University of Reading

UK-Japan collaborative symposium on Nucleic Acids, in association with The Japan Society for the Promotion of Science

## Invited Speakers:

Hiroyuki Asanuma – Nagoya University

Jiro Kondo – Sophia University

Kazuhiko Nakatani – Osaka University

Shigeki Sasaki – Kyushu University

Naoki Sugimoto – Konan University

Tom Brown – University of Oxford

Christine Cardin – University of Reading

Rick Cosstick – University of Liverpool

David Williams – University of Sheffield

## Host:

John Brazier, University of Reading

For further information,  
contact

Dr John Brazier

+44(0)118 378 4707

[j.a.brazier@reading.ac.uk](mailto:j.a.brazier@reading.ac.uk)

## All Welcome

Registration: Free

Please email [c.hale@reading.ac.uk](mailto:c.hale@reading.ac.uk) to register

**Registration deadline: 19 June 2014**